むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

第22回 関東KG学術大会 むすびプロジェクト活動の報告

令和7年2月22日（土）に第22回関東KG学術大会が八千代リハビリテーション学院で開催されました。関東KG学術大会とはカマチグループに所属する関東地域の各病院が研究成果を発表する場です。今回のテーマは「生活期の患者支援について」でした。一般演題として17件、学術顕彰として5件の発表が行われました。学術大会の中で八千代リハビリテーション病院・理学療法士河合大介と原宿リハビリテーション病院・看護師黒木博文が「LINE」「復職・就労支援」「心の交流会」を中心としたむすびプロジェクト活動報告を行いました。

多くのスタッフにむすびの活動内容を広く知っていただく良い機会になり報告後は活動に対して賛同する意見もいただきました。大会総括として座長のリハビリテーション関東統括本部長稲川利光先生が生活期の患者支援についての大切さを話されました。この学術大会で得た学びを活かし退院支援の質の向上に取り組んでまいります。

▲黒木博文看護師（左）・河合大介理学療法士（右）

▲むすびプロジェクトメンバーで集合写真

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。
ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

原宿リハビリテーション病院 検索
https://harajuku-reha.com/

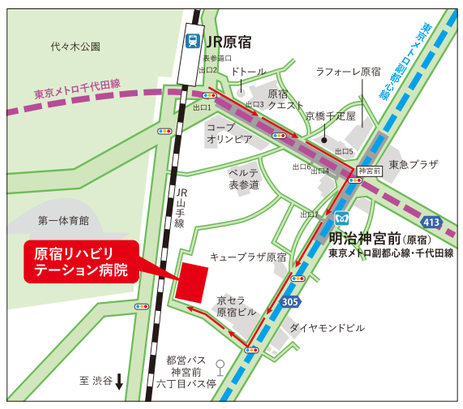
SNSのご案内

看護部
Instagram
@HARAREHA_KANGOBU_RECRUIT

リハビリテーション科
Instagram
HARAJUKU_REHA

TikTok
@harajuku_rehabilitation

原宿リハビリテーション病院　広報誌
原宿タイムズ Vol.31
HARAJUKU TIMES
令和7年9月発行
原宿リハビリテーション病院
日本医療機能評価機構認定病院
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1
TEL 03-3486-8333／FAX 03-3486-8334



■原宿駅　表参道口（JR山手線）より徒歩8分
■明治神宮前（原宿）駅　7番出口（東京メトロ副都心線・千代田線）より徒歩5分

企画・発行所：原宿リハビリテーション病院　広報委員会

原宿リハビリテーション病院　広報誌

原宿タイムズ Vol.31

HARAJUKU TIMES

コンテンツ

P1　：園芸活動だより
P2　：症例検討会/看護師訪日団
P3-4：病棟だより
P5　：設備案内/入院準備
P6　：行事食/不在者投票

撮影者：看護師　兵頭 / 撮影地：愛媛県久万高原町

園芸活動だより

～夏野菜の園芸活動で、心も身体も元気に～

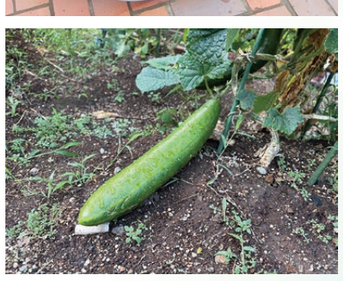
リハビリテーション科では、毎年恒例となっている夏野菜の園芸活動を、今年も患者さまと一緒に行っています。病院の庭に設けた小さな菜園スペースで、トマト、ナス、キュウリなどの夏野菜を育てています。

園芸活動は、単なる余暇活動ではなく、リハビリテーションの一環として取り組んでいます。土に触れ、苗を植え、水やりをするという一連の作業は、上肢や体幹の機能訓練となり、また立ち座りや歩行を伴うことでバランス能力の向上も期待できます。

さらに、「野菜が育つのが楽しみ」「家でもやってみたい」といった患者さまからの声からもわかるように、園芸活動は精神的な癒しや生活意欲の向上にもつながっています。

今後も、季節に応じた活動を取り入れながら患者さま一人ひとりが“生活の中でできるリハビリテーション”を提供していきたいと思います。

理学療法士　松本


▲キュウリ

▲ナス

▲オクラ

東京女子医科大学病院との 第2回 症例検討会

令和7年7月2日（水）、当院にて東京女子医科大学病院との第2回症例検討会を開催いたしました。当日は双方の医療従事者、約80名が参加しました。

今回の症例検討会では、東京女子医科大学病院にて廃用症候群に伴う筋力低下が見られた患者さまが、当院のリハビリテーションを経て日常生活動作を獲得し、ご自宅へ退院された経過について報告がありました。

当院では退院支援の一環として、患者さまやご家族とともに職員がご自宅を訪問し、実際の生活環境における日常生活動作の確認や、手すり等の福祉用具のご提案を行う家屋調査を実施しています。

東京女子医科大学病院の医師より、「回復していく過程や、手厚い退院支援の実際を知ることができ、有意義な時間となった」とのご感想をいただきました。

今後も紹介元病院と連携を一層深め、より円滑な入退院支援に努めてまいります。

入退院支援センター　看護師　坂本

中国・天津市より 看護師訪日団が来訪されました

2025年8月20日（水）、中国・天津市にある天津市胸科医院より、看護師の皆さまが当院を訪問されました。

本訪問は、「日本の病院における看護業務について理解を深めたい」との目的で実現したものです。

当日は、まず当院の概要をご紹介したあと、「日本のリハビリの現状について」というテーマで講演を行いました。

その後、リハビリテーション室や多床部屋、個室、屋上など院内を見学していただき、施設や取り組みについてご覧いただきました。

説明や質疑応答は中国語と日本語を交えて行われ、訪日団の皆さまは終始熱心に耳を傾けられていたのが印象的でした。

中国の医療現場でご活躍されている看護師の皆さまと、国境を越えた実りある交流ができたことでとても有意義な時間となりました。

看護部